

平成29年度 第7回用瀬地域振興会議 議事概要

【開催日時】

平成30年1月22日（月）午後1時30分～3時40分

【開催場所】

用瀬町総合支所 3階会議室

【参加者】

出席委員 西川功美、平井育子、山本慎介、谷本由美子、西村正雄、広田弥一郎、
岸本美鈴、福山裕正、長谷川浩司、亀谷幸子、以上10名（敬称略）

関係課 地域振興局地域振興課 国森課長補佐、竹森主事

事務局 田中用瀬町総合支所長、沖田副支所長、岡本産業建設課長、谷口市民福祉課長、
堀場地域振興課課長補佐

傍聴者 なし

【次第】

1 開会

2 あいさつ

3 議題・報告事項

議題・報告事項の順番変更について承認

(1) 中山間地域買い物支援事業（買い物福祉サービス支援事業）について

(地域振興局)

資料により説明

(委員1)

信用できる事業者であっても、買い物利用されていない人にとっては顔見知りでもなく、
不安を感じるのではないか。

支所だよりやチラシに事業者の顔写真や利用者の感想等を掲載することを提案する。

(委員2)

見守り活動はよいサービスだとは思いますが、となり組福祉員、愛の訪問協力員、民生委員等
の現在見守り活動をされている者との情報交換はスムーズにいくのか。

(地域振興局地域振興課)

見守りは、それぞれの業務の立場で実施し各々が支所の市民福祉課に報告するものですの

で、お互いが連携するというより、支所市民福祉課が情報を取りまとめ、対応するものとなります。

(委員 2)

見守りに係わる人が多いと、当事者は誰に言えばよいかなどと考え、負担になるのではないか。

(地域振興局地域振興課)

現在の見守りは地域で事業等をするなかで異変等に気づいた場合、市に報告をするものですが、4月以降の買い物福祉サービス支援事業では申込者に対して事業者が声掛け等の活動を行うもので、より手厚い見守り事業となります。

見守り活動する人が増えることによって、安心が増えるにとらえていただきたいと思います。

(会長)

用瀬地域の自治会等では中山間集落見守り活動支援に関する取り組みを実施するよう計画している。見守り事業者からの情報提供により安否確認等が必要な場合に、支所市民福祉課が依頼し、自治会長、民生委員等と連携し訪問等を行うもので、4月から実施できればと考えている。

(委員 4)

移動販売の希望がない場合でも、申込みがあれば見守り事業を実施するのか。

(地域振興局地域振興課)

申込みがあれば対応します。

(委員 5)

昼間が独居となる高齢者と常に独居の高齢者では、見守りの頻度の重要性が違うと思われるがどうか。

(地域振興局地域振興課)

一人暮らし高齢者の方については、すでに別の形の見守りがあり、加えてこの事業でも見守りを行うことで、見守りの回数等が増えるものと考えます。

(委員 6)

移動販売は停車時間が短く、集落で決められた場所のみの対応では、歩行に支障がある場合や自宅から距離がある等といった問題があり、利用者が限られることもある。時間内であれば、停車位置等集落の事情に応じた対応ができないか。

(地域振興局地域振興課)

対応できる場合もありますが、一度ご相談いただきたいと思います。

(委員 2)

見守りや買い物支援の希望が増えた場合、現在のタイムスケジュールでの運行は難しいと考えるがどうか。

(地域振興局地域振興課)

時間については、事業者と調整していきます。

(2) 平成29年度用瀬地域振興ビジョン推進計画の進捗状況について

事務局説明

(会長)

資料1によるとほぼ進捗しているようだが、状況はどうか。

(事務局)

本年度はあと2月余ありますが、計画業務はほぼ終了しています。今回は次の議題のビジョンの改訂に関し、4月にお示しした各推進計画の内容がどの程度の進捗状況であるかを報告させていただいています。

(委員2)

空き店舗等の利活用に関連して、用瀬中心地の元金融機関支店の跡地活用について検討する必要があるのではないか。建物が老朽化してからでは取得等も困難になると思われる。

(事務局)

建物内にATMがあることや移動店舗の場所として現在も使用されており、当分は金融機関が管理すると聞いているところです。

また、市有施設の再配置計画により財産の整理を行っているなか、市が積極的に取得することは難しいと考えますが、地元住民のみなさまからの利活用のご意見等いただき、活用にあたっては働きかけを行いたいと思います。

(委員1)

市行造林の実施について、現在の山林の状況等が地元で報告されていないと思われる。また、契約期間が満了するまでに地権者等に精算方法等を説明してほしい。

(事務局)

造林契約満期問題については、全市的に方針を決めて取り組むことが必要であり、本市林務水産課が現在協議を進めているところです。方針が決まりましたら報告させていただきたいと思います。

(委員1)

人・農地プランの実施内容に推進検討会の開催があるが、地元関係者が地域に対し会の内容等について伝達していない。行政と地域の連携強化が必要であり、情報共有できるよう配慮をお願いしたい。

(事務局)

この検討会については、地域の課題問題点等について市の関係課と県等で考察を行ったもので、今後プランを推進するにあたっては、地域の各関係団体等と連携し協議を進めて

いきたいと思います。

(委員 3)

地域おこし協力隊員の活動についてはどうか。

(事務局)

地域おこし協力隊員は本年度も南地域で 1 名配置されており、用瀬地域ではトレイル大会等事業実施にかかわっていただいています。

(委員 1)

地域振興会議での意見等は、今後のビジョンにどのように反映するのか。

(事務局)

現在の振興ビジョンと推進計画は平成 26 年度に策定しており、これまでも進捗等ご報告するなかで振興会議委員皆様からご指導等いただいているところですが、平成 29 年度で推進計画の短期が終了することに伴い、次の段階（中期）に向けて、大きな構想であるビジョンを見直し、推進計画についても委員の皆様にご意見をいただき、反映していきたいと考えています。

(3) 新市域振興ビジョンの改訂について

事務局説明

(委員 7)

江波三番叟について、推進計画で存続の取り組みができないか検討してほしい。

(委員 3)

伝統行事等の保存会の自主的な取り組みでは活動が難しいと感じている。

日本の行事に触れたいと海外からの観光客が増加しているなか、用瀬町にはその場がなく、訪れる観光客はないのが現状。例えば、伝統芸能をショーとして見せて、収益を生む仕組みを作れば、行事等の存続は可能と考えられる。

週末住人や地域団体と連携することで地域課題を解決し、資源をビジネスにつなげることができれば、地域振興や農林業の活性化も図られるのではないかと。

(委員 9)

流しびなの館ふれあいホール等、既存の施設の利活用等も考慮してほしい。

(会長)

推進計画のなかで、地域に応じた防災マップの作成等具体的な内容を盛り込んでほしい。

(事務局)

ご意見をいただいた内容等、検討を行い次回の振興会議で提案させていただきます。

4 各課事務連絡等

(事務局)

新年出初式用瀬地区団員はしご昇り演技披露について
用瀬地域の新保育園の名称について
主な行事予定 等

(会長)

「私の提言」の提案について

5 次回日程について

(会長)

次回は、2月22日(木)午後1時30分から用瀬町総合支所で開催予定。

6 閉 会